

【理学部第二部物理学科】

卒業認定・学位授与の方針[ディプロマ・ポリシー]

実力主義を堅持し、優れた専門知識、倫理観、幅広い視野を持った、何事にも粘り強く取り組める理系人材の養成を目標とし、所定の期間在学し、以下の知識、能力を身に付け、本学科が定める所定の単位を修得した学生に対して、卒業を認定し、学士（理学）の学位を授与する。

1. 「基礎科目」、「専門科目」の履修によって、物理学における様々な分野の基礎学力と、その上に立つ専門知識。また、これらを用いて論理的に思考する能力、並びに自らの意見を表現するためのコミュニケーション能力。
2. 「一般教養科目」の履修によって、社会、文化、地球環境等の観点から科学の役割と責任を論じることができるような、国際的にも通用しうる広い視野と高い倫理観。
3. 修得した専門知識や教養をもとに、自ら課題を発見し、解決する能力。
4. これらの能力を活かし、各々の最先端物理学の研究を遂行する能力。

教育課程編成・実施の方針[カリキュラム・ポリシー]

本学科の理念は本学創設以来の「理学の普及と実力主義」であり、この理念に向かって、夜間の時間帯に「十分な基礎学力の上に高度な専門知識を身に付け、豊かな教養に裏打ちされた強い倫理観と豊かな人間性を持った人材の育成」を行い、物理学科が定める人材育成等に関する目的を実現するための学士の教育課程を編成する。真に実力を身に付けた学生のみを卒業させる「実力主義」の伝統を堅持し、厳格な教育課程を実践する。

1. 「一般教養科目」では、教員、研究者、企業人・公務員等様々な学生の進路に対応できるよう、多彩な教育課程と時間割を備え、グローバル化・ユニバーサル化に対応できる幅広い教養を持つ人材を育成するとともに、他者と協働で物事を進めることができるように、情報の収集・発表の方法、緻密な論理的思考力を養う内容を含む科目を配置する。
2. 「英語教育」においては学習効果を高める主体的な学びを導く教育を行う。
3. 「基礎科目」には、「専門基礎科目」、「基幹基礎科目」、「関連専門基礎科目」を配置し、物理学の真に基礎的な実力のある学生のみが先端的な「専門科目」の履修ができるよう、1年次から2年次への進級に対して履修が不可欠な関門科目を配置する。
4. 「専門科目」は、「基礎科目」で修得した能力をベースに、物理学の専門知識を深化させ、併せて他の授業科目との関連や学問探求の方法を学び、問題発見・解決能力の育成を図る。
5. 「専門科目」には夜間学部が多様な学生に対応するため、物理学分野を超えて、幅広く関心のある科目を履修できるように多彩な科目を備えるとともに、他学部、他学科間の履修にも柔軟に対応し、学生の勉学意欲の向上を図り、多様な学習ニーズに応える教育課程とする。
6. 「演習・実験科目」では、物理学の問題を解く力や実験技術の修得に加え、レポートやプレゼンテーションを行い、自らの意見を正確に他者に伝える技術の修得をさせ、コミュニケーション能力を培う。
7. 「一般教養科目」、「基礎科目」、「専門科目」には、各専門分野に応じたキャリア教育、倫理観を養う内容を含む科目を配置する。
8. 教員を目指す学生のために、理学部第一部との授業相互乗り入れ制度を導入し、4年間で教職課程を履修できる教育課程を実施する。
9. 学士課程の集大成として、最終年度に「卒業研究A」及び選択科目である「卒業研究B」を配置し、研究活動に参加させる。
10. 大学院科目の先行履修も可能とすることにより、勉学意欲の高い学生の要望にも答えられる形にする。

入学者受入れの方針[アドミッション・ポリシー]

建学の精神と実力主義の伝統に基づく、本学の教育研究理念のもと、

1. 大学レベルの物理学を学ぶために必要な基礎知識、思考力、判断力、表現力を持つ人。
2. 自らの考えを表現する力を備え、主体的に幅広い年齢層の人々と協働して学ぶ意欲のある人。
3. 勉学と職業を両立させ、人間力・学士力を身につける意欲のある社会人。

を下記の多様な選抜方法により広く求める。

【入試形態ごとの入学者に求める能力と、その評価方法】

(A 方式入学試験)

幅広い科目に対する基礎知識と思考力、判断力を持つ人を、大学入学共通テストの得点を用いて選抜する。

(B 方式入学試験)

数学、物理学、英語の基礎知識と、それを応用する能力、思考力、判断力を持つ人を、独自の学力試験の得点を用いて選抜する。

(学校推薦型選抜(指定校制))

高等学校段階までの教科の格段の基礎知識と思考力、判断力、表現力を持ち、物理学を学ぶことに対して意欲が高く、夜間学部に入學する明確な目的を持つ人で本學を第1志望とする人を、書類審査、面接等により選抜する。

（総合型選抜（理學部第二部））

本學の特性に見合う基礎知識と思考力、判断力、表現力を持ち、自ら学ぶ意欲と夜間学部に入學する明確な目的意識を持つ本學を第1志望とする人を、書類審査、小論文、面接、口頭試問により選抜する。

（社会人特別選抜入學試験、社会人特別編入學試験、帰国生入學者選抜、一般編入學試験）

企業、海外、物理系以外の専門課程等で得た経験に基づく判断力、思考力、學問に対する姿勢や考え方をもち、夜間学部で自ら学ぶ意欲のある人を、書類審査、面接、口頭試問、小論文により選抜する。